

中部産業遺産研究会WEB

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2022年4月9日土曜日 9:19
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH:252] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2022年4月9日発行

◆-----◆
中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2022年4月9日発行
◆-----◆

【中部産業遺産研究会 2022 年度会費納入のご案内】

中部産業遺産研究会会員各位

拝啓 平素は中部産業遺産研究会の研究活動にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。ございます。

下記の通り、2022 年度会費の納入についてご案内を申し上げますので、会費（4,000 円）のお振り込みをお願いいたします。

なお、2021 年度会費のお振り込みをされていない方は、2021 年度分会費と合わせてお振り込みをお願いいたします。

2021 年度分会費をお振り込み頂いたかどうか不明の方は、広報幹事 (hidekih@wine.plala.or.jp) までお問い合わせ下さい。会計幹事に確認して回答致します。

お手数ではございますがどうぞよろしくお願いいたします。敬具

記

2022 年度 年会費	4,000 円 (2021 年度会費未納の方は 2 年分 8,000 円)
振込口座	三菱 UFJ 銀行 鳴海支店 普通預金 口座番号 1531266
口座名	中部産業遺産研究会 会計係 加藤真司 (かとう しんじ)

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】

<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】

<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】

<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【2】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回 開催のご案内【New】

【3】「国際芸術祭あいち2020」のご案内／天野武弘【再送】

【4】『産業遺産研究 第29号』、「中部産遺研会報」の原稿募集について【再送】
／会誌・会報編集委員会 石田正治



【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定【New】

●第30回総会・第172回定例研究会

2022年5月22日（日）13:00～17:00 会場：とよた市民活動センター 研修室
アクセス：名鉄三河線 豊田市駅・愛知環状鉄道 新豊田駅 下車徒歩3分
T-FACE A館（松坂屋が入っていたビル）9階
TEL 0565-36-1730

●シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回

2022年6月26日（日）13:00～17:00
会場：トヨタ産業技術記念館 ホールA
アクセス：名鉄名古屋本線 栄生駅 下車徒歩5分
テーマ：「生かそう身近な産業遺産～先人の挑戦をひもとき未来に生かす～」
内容：ものづくりが盛んな中京地区。陶磁器や織機、各種機械や自動車、ミシンや8ミリ映写機、ガス機器、娯楽機器など、現在も身近に多くある。これらに関わられた例としてトヨタ産業技術記念館の成田年秀氏から学芸員としての想い、中部産業遺産研究会からは実証的な調べ方の事例をご紹介します。
パネルディスカッションで今後の展望につなげたい。

●パネル展 2022年8月23日（火）～2022年9月11日（日）

【2】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回 開催のご案内【New】

中部産業遺産研究会では、以下の通り、シンポジウム「日本の技術史をみる眼」を開催

致しますので、会員の皆様のほか、会員外でもご興味をお持ちの皆様のご参加をお待ち致しております。

■テーマ

「活かそう身近な産業遺産 ～ 先人の挑戦をひもとき未来に活かす ～ 」

■開催趣旨

名古屋を中心にした中京地区は、現在もモノづくり中部とも称されるようにモノづくりが盛んな地域です。産業遺産としては工業化が進んだ近代以降を主に対象としますが、陶磁器や織物、各種機械、自動車などはもとより、この地域で開発されてある時期に広く利用発展したミシンや小型映写機、ガス機器、娯楽機器など、現在も身近なものが数多くあります。

これらの身近にある事物に着目し、先人の経験や成果などから、これからの時代に活かせる気づきを得たいと思います。

また、こうしたことを気づかせてくれるのが博物館でもあります。

今回はトヨタ産業技術記念館や豊田市近代の産業とくらし発見館などの事例を参考に、産業遺産の保存と活用について、常設展や企画展などでの考え方や具体的な取り組み状況を、学芸員の立場からも紹介いただき、意見を交えて、身近な産業遺産を活かしていくための理解を深めたいと思います。

■主 催 中部産業遺産研究会

■共 催 トヨタ産業技術記念館

■開催日 2022年6月26日(日) 13:00～16:50
(受付開始:12:00～)

■会 場 名古屋市西区則武新町4-1-35 トヨタ産業技術記念館 ホールA

■内 容

挨拶: 中部産業遺産研究会 および トヨタ産業技術記念館

基調講演 「(学芸員として産業遺産保存活用や広報への取り組みなどを紹介)」

講師 成田年秀 トヨタ産業技術記念館 学芸員 13:10～14:20

講演 「公的記録、登記等から探る産業遺産の調べ方」

講師 杉山清一郎 中部産業遺産研究会会員 14:30～15:20

質疑応答・パネル討議と会場からの意見交換 15:30～16:45

「身近な産業遺産発見と保存活用について」

* 来場された博物館関係者や学芸員の方にもご意見を求めます。

コーディネータ 天野 武弘 (会員)
パネリスト 成田 年秀 (講師)、 杉山 清一郎 (講師)
小西 恭子 (豊田市近代の産業とくらし発見館学芸員)

■シンポジウム定員 会場の定員は100名ですが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から直前状況に従い再調整します。

■シンポジウム参加費 一般：1,500円(講演報告資料集の代金1,000円を含む)。

*学生：参加費無料。講演報告資料集が必要な場合は、500円。中部産業遺産研究会会員・後援団体関係者：1,000円。

■申込方法 インターネットを通じた間もなく受け付けを開始します(郵便での申し込みは郵送の場合は以下の通り)

郵送での申込

①氏名、②一般・学生・会員の別、③連絡先(電話又はメールアドレス)、④所属団体(後援団体との関係)、

⑤CPD証希望の有無

を下記の実行委員会・申込先に郵送

<郵送申込先>〒470-0213 愛知県みよし市打越町九蔵釜93 加藤真司

インターネット経由での申込の場合

*後日、申込先アドレスを中部産業遺産研究会ウェブページ <http://csih.sakura.ne.jp/> とチラシにて案内。

上記郵送と同様の項目を記載して参加申し込み

電子メール版ニュースレターにおいてもご案内を差し上げます。

(定員に余裕があれば当日参加も受け付けます)

■参加費の振込方法

郵便振込 口座番号：00880-2-83831

口座名称：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」

(振込む時間が取れない場合は、当日受付でも支払えます)

■中部産業遺産研究会ホームページ <http://csih.sakura.ne.jp/>

■問合せ先

シンポジウム実行委員会事務局 八田 健一郎

E-mail：kenhatta@hm4.aitai.ne.jp

【3】「国際芸術祭あいち2020」のご案内／天野武弘【再送】

今年の「国際芸術祭あいち 2020」で、「あいち NAU プロジェクト」として、東京の女子美術大の眞田岳彦先生がプロデュースするイベントが各地で催されます。

ここに中部産遺研のメンバーが出演予定となっています。

4/16 に豊橋市民俗資料収蔵室で天野が出演

5/14 に豊田市発見館で小西恭子さん出演

5/15 に一宮市博物館で神田年浩さん出演

人数制限と事前申込み制になっています。

申込み先は、nau@aichitriennale.jp です。

①氏名、②年齢、③参加希望する施設名、④メールアドレス、⑤電話番号、⑥お住まいの市町村詳細は添付ファイルにございます。

また、

<https://aichitriennale.jp/news/2022/004765.html>

もご覧下さい。

【4】『産業遺産研究 第29号』、「中部産遺研会報」の原稿募集について【再送】

／会誌・会報編集委員会 石田正治

以下の通り『産業遺産研究 第29号』および『中部産遺研会報』の原稿募集を致します。詳細は以下の通りです。

1. 『産業遺産研究 第29号』

(1) 査読論文等（論文、調査報告、研究ノート）

- ・ 投稿申し込み 2022年4月15日まで
タイトルと概要（200字程度）を石田正治宛連絡
電子メールアドレス：ishida96@tcp-ip.or.jp
- ・ 投稿原稿提出期限 2022年4月30日（土）
執筆要綱、投稿要領を参照の上、原稿を作成してください。
4月30日以降の投稿原稿の修正は、査読が終了するまでできません。
- ・ 編集スケジュール
4月30日（土） 原稿受け付け終了
5月5日（木）～6月5日（日） 査読期間
6月10日（金） 査読結果の通知
6月30日（木） 修正原稿提出期限
7月5日（火） 著者校正期限
7月10日（日） 版下原稿、印刷所に送付
7月20日（水） 発行予定（定例研究会7/24または7/31）

(2) 査読論文等以外の諸原稿

- ・ 投稿原稿提出期限 5月29日(日)
5月29日(日)～6月19日(日) 編集期間
6月30日(木) 著者校正期限
7月10日(日) 版下原稿、印刷所に送付
7月20日(木) 発行予定
- ・ 投稿宛先 石田正治 ishida96@tcp-ip.or.jp
440-0093 愛知県豊橋市横須賀町元屋敷14-2

2. 「中部産遺研会報」への投稿原稿締め切り日

- 会報第87号 原稿締め切り：6月15日 (7月15日発行予定)
- 会報第88号 原稿締め切り：9月15日 (10月15日発行予定)
- 会報第89号 原稿締め切り：12月15日 (1月15日発行予定)

※会報用テンプレート(一太郎)で作成される場合は、発行日の15日前まで受け付けます。

- ・ 投稿宛先 石田正治 ishida96@tcp-ip.or.jp
440-0093 愛知県豊橋市横須賀町元屋敷14-2

--



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 広報幹事

Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> Copyright The Chubu Society For The Industrial Heritage.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、

<https://groups.google.com/d/msgid/csih/00ab01d84ba7%24736dd8b0%245a498a10%24%40wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。